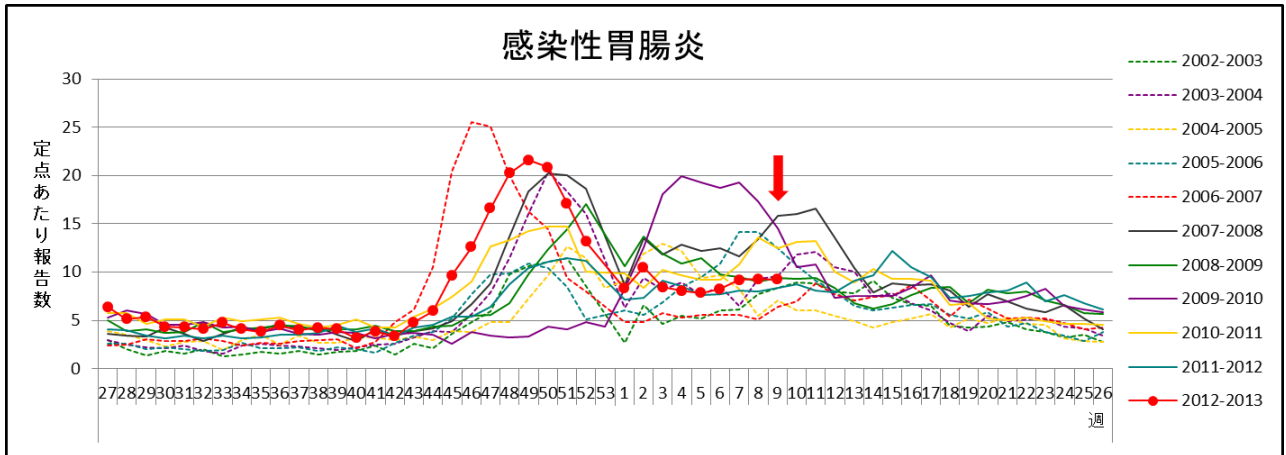


# 感染性胃腸炎情報 2013 年 第 9 週 (2 月 25 日 ~ 3 月 3 日)

○岡山県内の患者報告数は 499 名 (定点あたり 9.24 人) であり、前週とほぼ同数でした。(54 定点医療機関報告)  
**【第 10 週 速報】**

○感染性胃腸炎による学級閉鎖が、岡山市の小学校 1 校でありました。(3 月 4 日)



※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

**感染性胃腸炎**は、前週とほぼ同数でした (定点あたり 9.26 → 9.24 人)。地域別では、備前地域 (12.20 人)、備北地域 (11.75 人)、倉敷地域 (11.64 人) で患者が多くなっています。年齢別では、5 歳以下の幼児が全体の 45% を占めています。

第 10 週には感染性胃腸炎による学級閉鎖が小学校 1 校で報告されています。依然として流行はつづいていきますので、手洗いの徹底や、下痢便・吐物の適切な処理などの感染予防と拡大防止に努めてください。小さなお子さんや高齢者の方は、嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。

また、これから春にかけて、0~2 歳の乳幼児を中心にロタウイルスによる胃腸炎も増加してきます。主な症状は嘔吐と下痢で、ノロウイルスに比べ重症度が高いといわれていますので注意が必要です。

## ◆地域別・年齢別発生状況

